校友会上海支部例会報告（2019年3月25日実施）

校友会上海支部3月例会は25日、楼山関路の金虹橋商場イタリア料理店PRONTOにて開催されました。
今回は支部会員である黒田員正君が、旧正月休み中に急逝されたという悲しい報告が有りました。

私は黒田員正君と、昭和53年（1978年）中国語学科入学でしかもI-1（アイワン）クラスも同じ、グループでいつも一緒に昼ご飯を食べていたという仲良し同級生でした。卒業後35年以上もの時を経て、異国の地である上海で同じ校友会で顔を合わせることになるとは夢にも思っていませんでした。つい先回の例会で、2人で還暦のお祝いをしてもらったばかりなのに、人生の試練はいつやってくるかわからないことを改めて思い知らされました。



黒田員正君（左）と私（1月例会より）

今回は、黒田君の奥さまも遠路東京より駆けつけて頂き、故人の思い出話に花を咲かせたとともに、残された我々は、自身の健康だけには十分すぎるくらい気をつけ、人生を楽しもうではないかと改めて確認いたしました。
また今回より、1年間の予定で留学中の現役留学生2名も参加いただき、若い活力を上海支部に吹き込んでくださることでしょう。











上海支部では、二か月に一回の例会を行っておりますので、この広い中国でもしまだご参加いただいていない方がおられましたら、是非ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

2019.4.16

1978年中国語学科入学　後藤博幸